

富士市の 都市活力再生

具現の年

鈴木尚市長は、市議会2月定例会で平成25年度の市政運営の考え方と重点施策を盛り込んだ「施政方針」を発表しました。
今回は、今年度の施政方針と主要事業を紹介します。

「元気ある都市」を 目指して

我が国の経済は、新興工業国との激しい競争や、少子高齢化・人口の減少等による国内市場の縮小などにより、「失われた20年」と言われる低迷状態に陥り、長期的なデフレ傾向が続いています。

本市では昨年、大手事業所の大幅な生産縮小が現実のものになり、今、活力を取り戻すことができるのか、それとも衰退していくのかという、重大な岐路に立っています。
元気ある社会を実現していくためには、新たな産業モデルを構築し、都市活力を再生することが不可欠です。

この難局を乗り越えるため、市は平成23年9月から都市活力再生に向け取り組んできました。

「富士市都市活力再生ビジョン」が完成

3月に策定した、本市の新しい成長戦略「都市活力再生ビジョン」では、最上位目標を「若い世代の人口の確保」としています。

「人の力を引き出す」、「人の力を集める」という視点から、産業はもとより、福祉、文化、都市基盤など複数の分野で、新たな施策を強力に展開していきます。

平成25年度を「富士市の都市活力再生 具現の年」と位置づけ、「都市活力再生ビジョン」に掲げる4つの戦略をもとに、諸施策に取り組み、市の政策を推進するものになる「第五次富士市総合計画」に掲げる『富士山のふもと しあわせを実感できるまち ふじ』の実現を目指します。



ポリオ予防接種



富士山フロント工業団地



就労総合支援センター

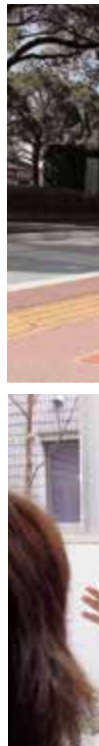


湧水公園



田子の浦港





「富士市都市活力再生ビジョン」冊子

「都市活力再生ビジョン」の内容は、市ウェブサイトでご覧いただけます

第五次富士市総合計画に位置づけた7つの柱に沿って、具体的な事業を4〜7ページで紹介します

施政方針の根幹をなす

「都市活力再生ビジョン」に掲げる4つの戦略

戦略1

イノベーションの創出
新しい価値をつくり出すグローバル産業都市の実現

生産機能に重点を置いた都市から、新しい価値を創造する「智慧の都市」への転換を図り、新産業・新事業につながる「イノベーションの創出」を推進します。起業・創業の支援、既存企業の強化、積極的な企業誘致を3本柱に、新たな領域に挑む人を支援していきます。

戦略2

プロモーションの強化
人・モノ・情報が世界中と多面的に交流する都市の実現

富士山の世界文化遺産登録の実現が近く、眠れる観光素材の掘り起こしと磨き上げを行うことにより、富士市の魅力再発見に努め、明確な都市ブランドの構築を目指した「シティプロモーションの強化」を図ります。

戦略3

アーバンデザインの上質化
上質な都市デザインにより、賑わいが感じられる都市の実現

まちなかへの都市機能の集積により、賑わいの再生を図るとともに、富士山の景観を活かした美しいまちづくりに取り組み、若い世代をはじめ、多くの人々を惹きつける「アーバンデザインの上質化」を推進します。

戦略4

セーフティの確保
生命と財産が守られ、日々の安全・安心が感じられる都市の実現

大規模災害に備えた積極的な防災対策を展開し、子育て支援施策や医療体制を充実させ、仕事と家庭を両立できる環境を整備します。市民・企業がその力を十分に発揮できるように、総合的な「セーフティの確保」を進めます。